

自治会に関する アンケート調査 結果報告書

令和6年 11月

白井市自治連合会

白井市

自治会アンケートの実施概要

1. 目的

市内の各自治会の活動状況や課題などの現状把握と、取り組みの好事例を
情報収集し、自治会活動の課題解決に向けた検討資料を得る。

2. 調査対象 市内全自治会 96自治会の自治会長

3. 調査期間 令和6年9月30日（月）～10月23日（水）

4. 調査方法 令和6年度自治会長宅へ、調査票及び返信用封筒を郵送配付

5. 主な調査項目（詳細は次ページ参照）

- | | |
|------------------------------|--------------|
| （1）自治会長に関すること | （2）自治会の収支 |
| （3）自治会活動の取り組み | （4）自治会活動の課題 |
| （5）自治会加入の取り組み | （6）役員のなり手の確保 |
| （7）他団体・組織との協力・連携（8）市からの必要な支援 | |
| （9）その他の意見、提案 | |

6. 回収方法 郵送回収（市役所へ直接提出も可）

10月16日（水）に未提出の自治会に文書を発送

7. 回収結果 96自治会中89自治会提出 回収率 92.7%

（うち無記名回答6自治会）

自治会アンケートの調査結果

アンケート調査の質問項目

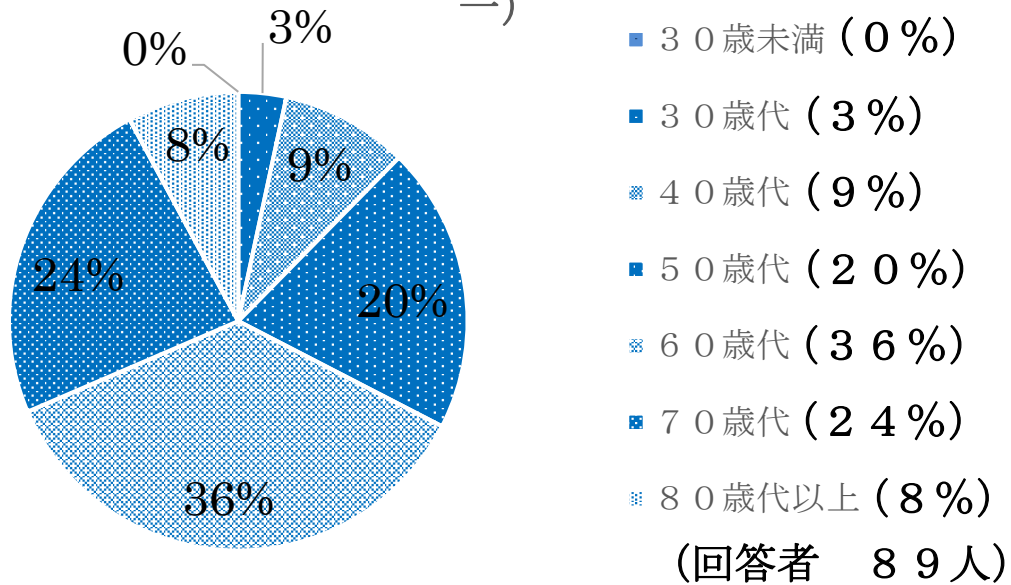
調査項目	小項目	回答形式	ページ
1. 自治会長に 関すること	問 1. 年代	択一	P.3
	問 2. 職業への従事	択一	P.3
	問 3. 在職年数	択一	P.4
	問 4. 任期	択一	P.4
	問 5. 選出方法	択一	P.5
2. 自治会の収支	問 6. 自治会費	数量回答	P.6
	問 7. 年間活動費	数量回答	P.6
	問 8. 主な収入源（自由回答有）	複数選択	P.7
	問 9. 主な支出経費	複数選択	P.8
3. 自治会活動の取 り組み	問 10. 取り組んでいる活動	複数選択	P.9
	問 11. 会員の参加状況	択一	P.10
4. 自治会活動の課 題	問 12. 活動の課題	複数選択	P.11
5. 自治会加入の取 り組み	問 13. 加入率の推移	択一	P.12
	問 14. 加入しない理由	複数選択	P.12
	問 15. 加入者を増やすための取り組み（自由回答有）	複数選択	P.13
	問 15-1 取り組みを行っていない理由	複数選択	P.15
	問 16 退会者を減らすための取り組み（自由回答有）	複数選択	P.16
6. 役員のなり手の 確保	問 17 役員のなり手を確保するための取り組み （自由回答有）	複数選択	P.18
7. 他団体・組織と の協力・連携	問 18 他団体・組織との協力・連携（自由回答有）	複数選択	P.20
8. 市からの必要な 支援	問 19 市からの必要な支援	複数選択	P.22
9. その他の意見、 提案	問 20 井戸の設置状況	択一	P.23
	問 21（1）自治連合会に期待すること	複数選択	P.24
	問 21（2）自治連合会への事業提案	自由回答	P.25
	問 22 その他の意見、提案	自由回答	P.26

※個人や自治会名の特定に繋がる内容は、一部修正いたしました。

調査項目 1 自治会長に関すること

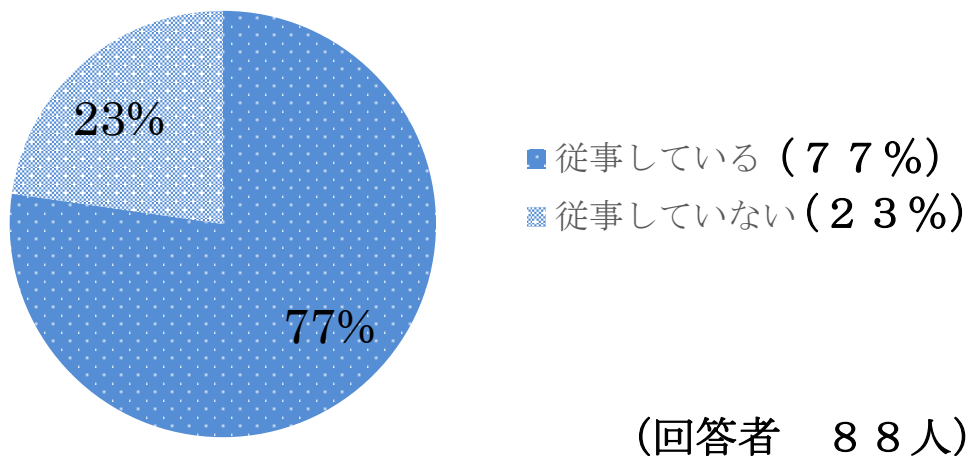
問 1. 年代

あなたの年齢について教えてください（択一）



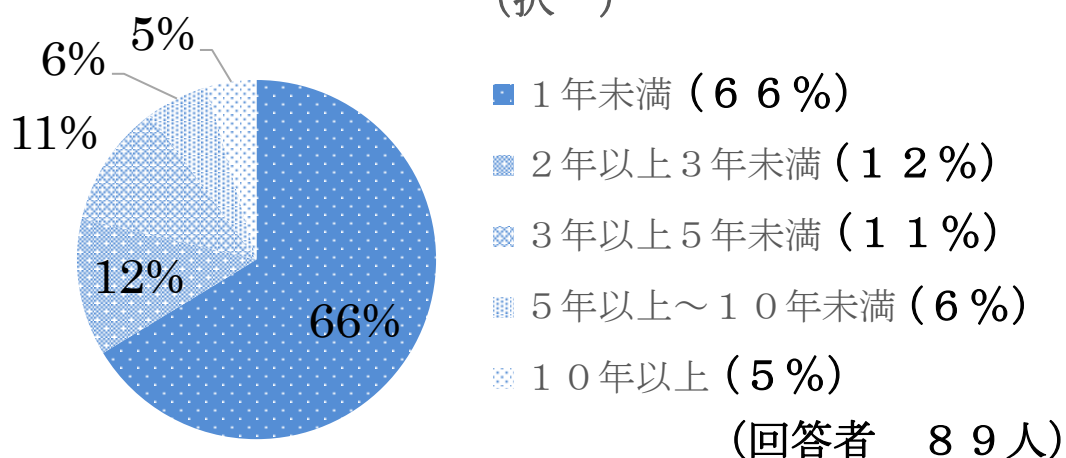
問 2. 職業への従事

現在あなたは何らかの職業に従事していますか。（択一）

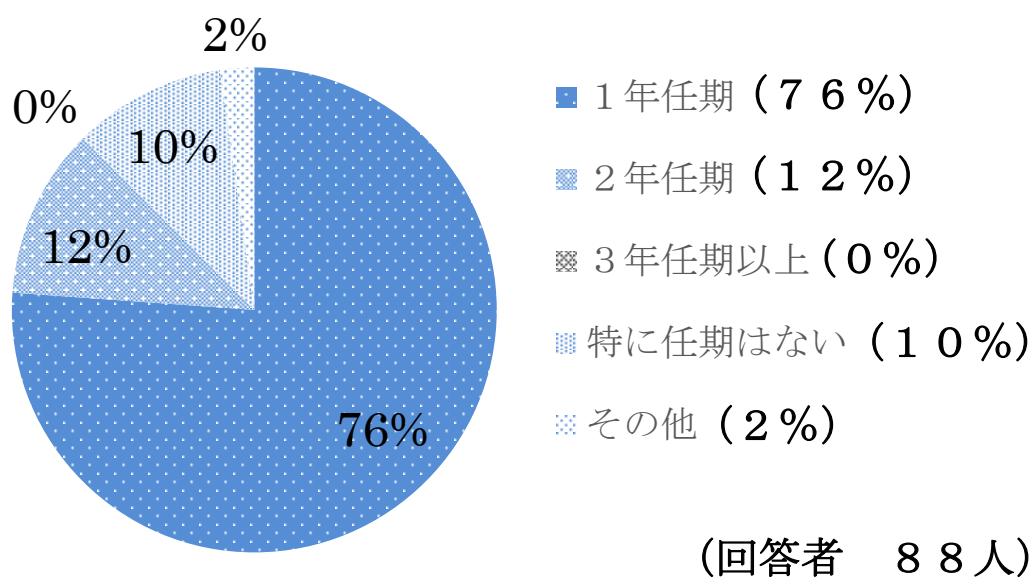


・自治会長については60歳代が最も多く、また職業へ従事している人の割合が高かった。

問 3. 在職年数
自治会長に就任し通算何年になりますか。
(択一)



問 4. 任期
自治会長の任期は何年ですか。(択一)

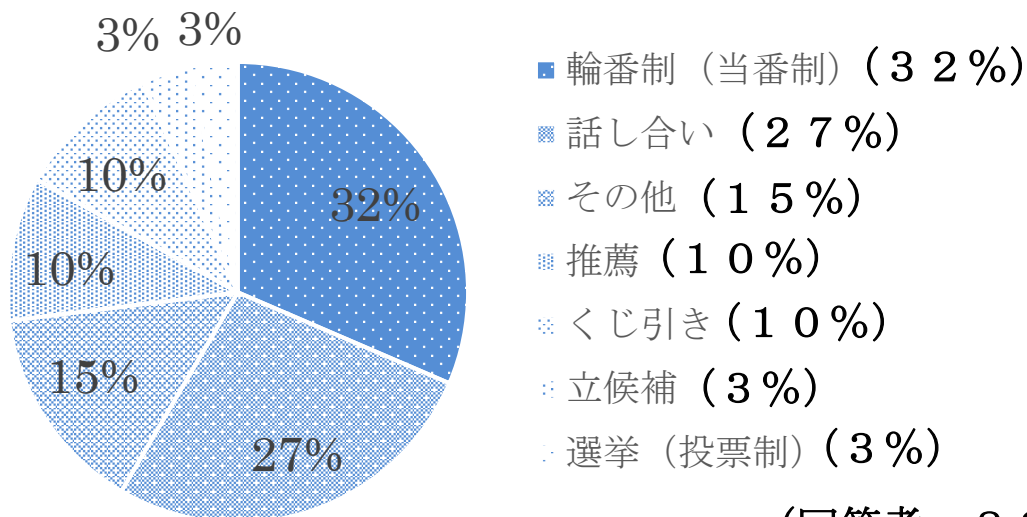


その他の回答内容

・ 5 年まで ・ 管理組合の任期 (2 年) 以内

- ・ 自治会長の在職年数は 1 年未満、任期は 1 年以内がそれぞれ大多数を占めていた。
- ・ 前回 (H29) に比べ在職年数 1 年未満が減少 (80%→66%) した。

問 5．選出方法
自治会長はどのように選出していますか。（択一）



（回答者 89人）

その他の回答内容

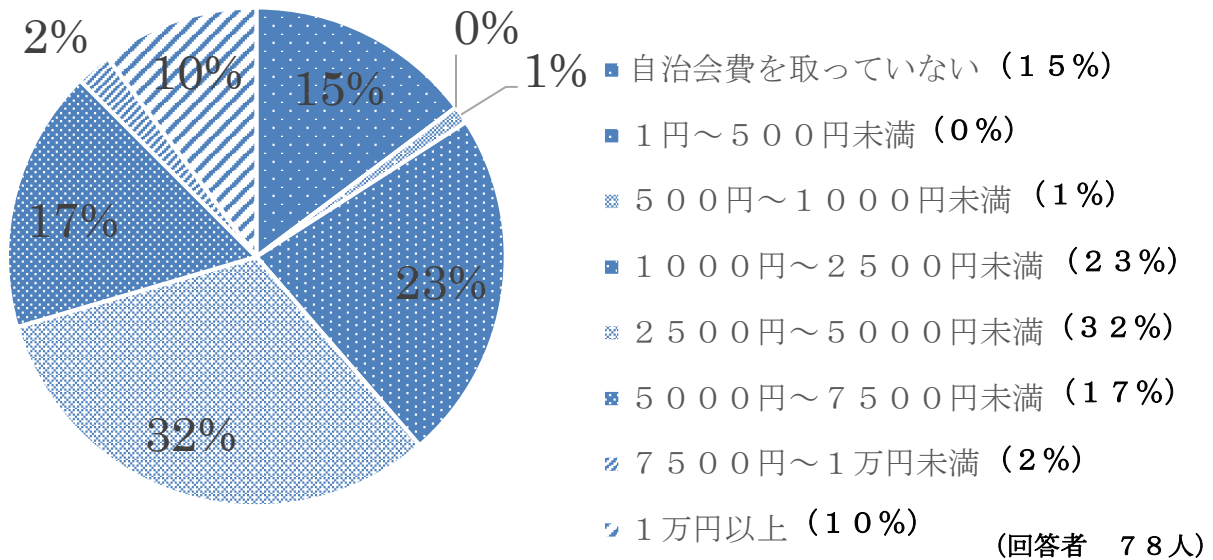
- ・前年の管理組合（こちらは輪番制のみ）役員が、2年目は自治会役員に。
- ・主に年齢順
- ・役員複数名が輪番制で、会長は役員の中で互選
- ・現役員がやっていただけそうな方をお願いに行く。
- ・管理組合の役員は輪番制で2年、その役員の中から種々の役の中より自分で選ぶ
- ・順番制
- ・総会で互選による
- ・数年に1度自治会の中で役員順番が回ってきて、その後役員内での互選による。
- ・役員を輪番制で選出し、会長はその中から話し合いで決める
- ・じゃんけん
- ・1年任期の班長から話し合いによって選出
- ・その年の役員の話し合いで選考方法を選択。ちなみに本年度はあみだくじ。

- ・自治会長の選出方法は「輪番制（当番制）」、「話し合い」、「推薦、くじ引き」の順で多かった。

調査項目2 自治会の収支

問6. 自治会費

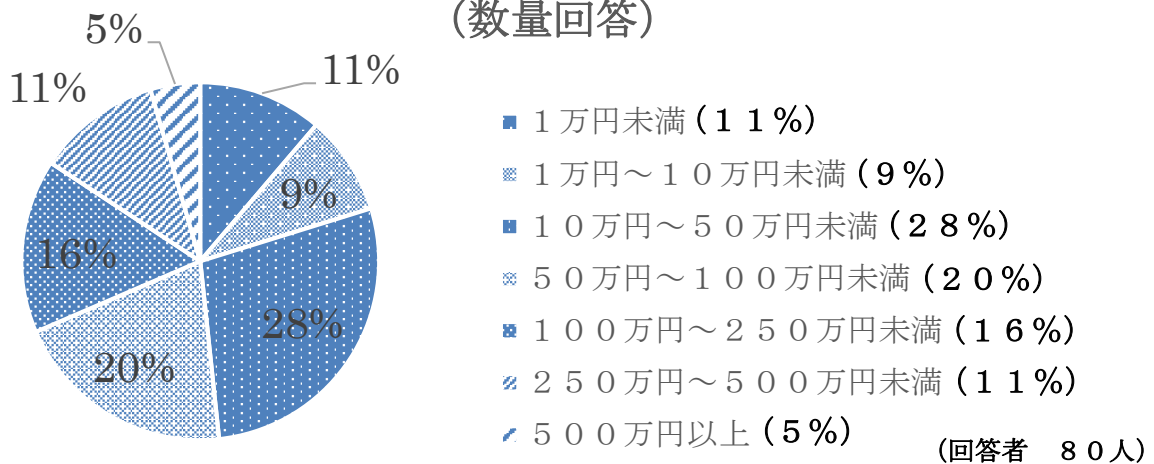
1世帯当たりの年間の自治会費はいくらですか。
(数量回答)



- ・年間の自治会費については「2500円～5000円未満」、「1000円～2500円未満」、「5000円～7500円未満」の順で多かった。
- ・平均値は、4,333円で、中央値は、3,000円だった。

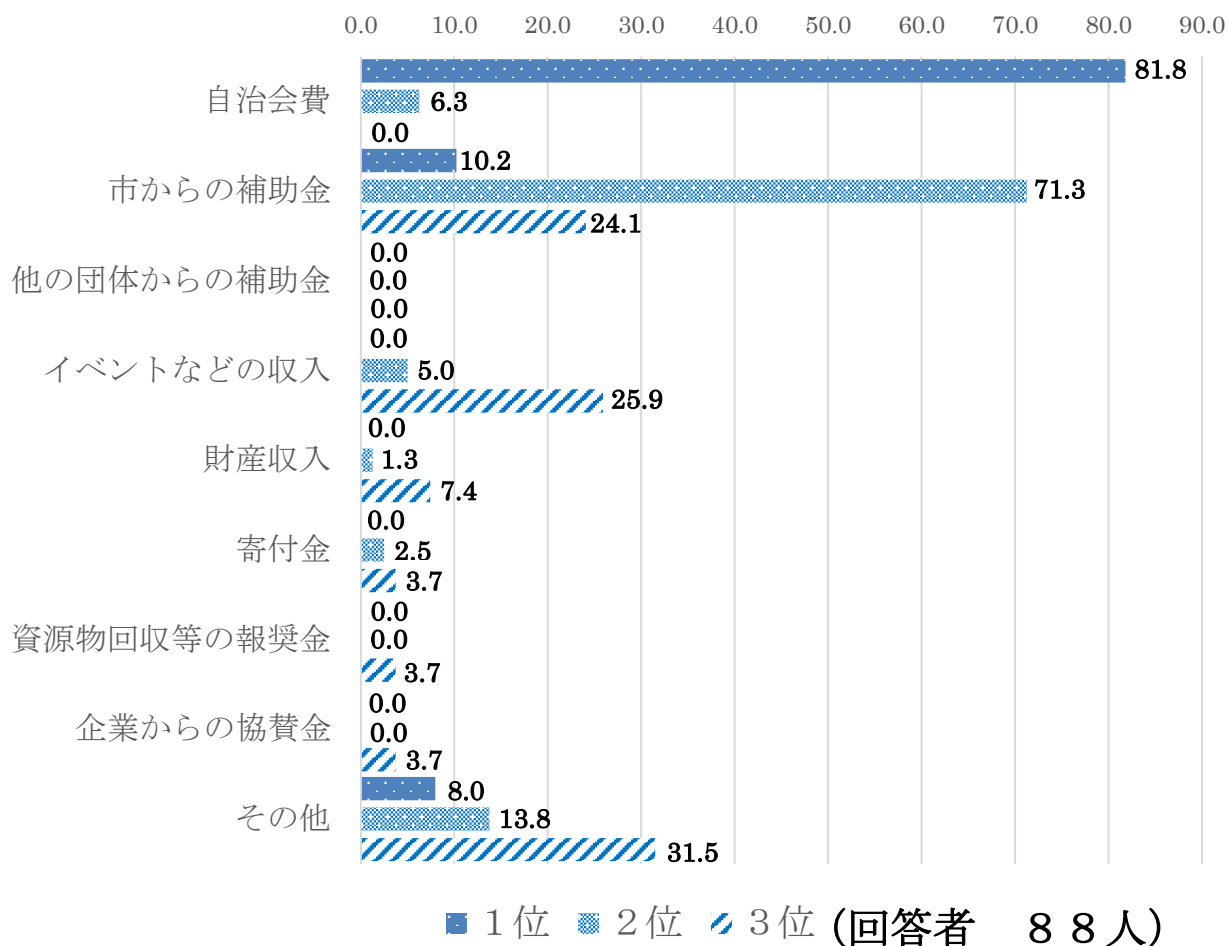
問7. 年間活動費

令和6年度の自治会の年間活動費はいくらですか。
(数量回答)



- ・自治会の年間活動費については「10万円～50万円未満」、「50万円～100万円未満」、「100万円から250万円未満」の順で多かった。
- ・平均値は、113万8,734円で、中央値は、50万円だった。

問 8.主な収入源 自治会の主な収入源について、多いものから順に 3 つを選んでください。



その他の回答内容

- ・管理組合費（2 件） ・前年度繰越金（7 件） ・賽銭、初穂料 ・都市再生機構業務委託費 ・雑収入、夏祭り売上、利息収入 ・集会所使用料（2 件）
- ・行政連絡業務交付金（4 件） ・防災活動に係る補助金（ただし R6 年度限り）
- ・管理組合からの補助 ・駐車場収入 ・預金利息

- ・自治会の主な収入源の第 1 位は「自治会費」が多数を占めていた。
- ・第 2 位は「市からの補助金」が多数を占めていた。

自治会費、市の補助金以外で収入源となる効果的な取り組み

・バザーなどによる収入。または、JRA などの企業と共同でイベントを開催し、収入を得る。

・イベントでの売り上げ（夏祭り等）

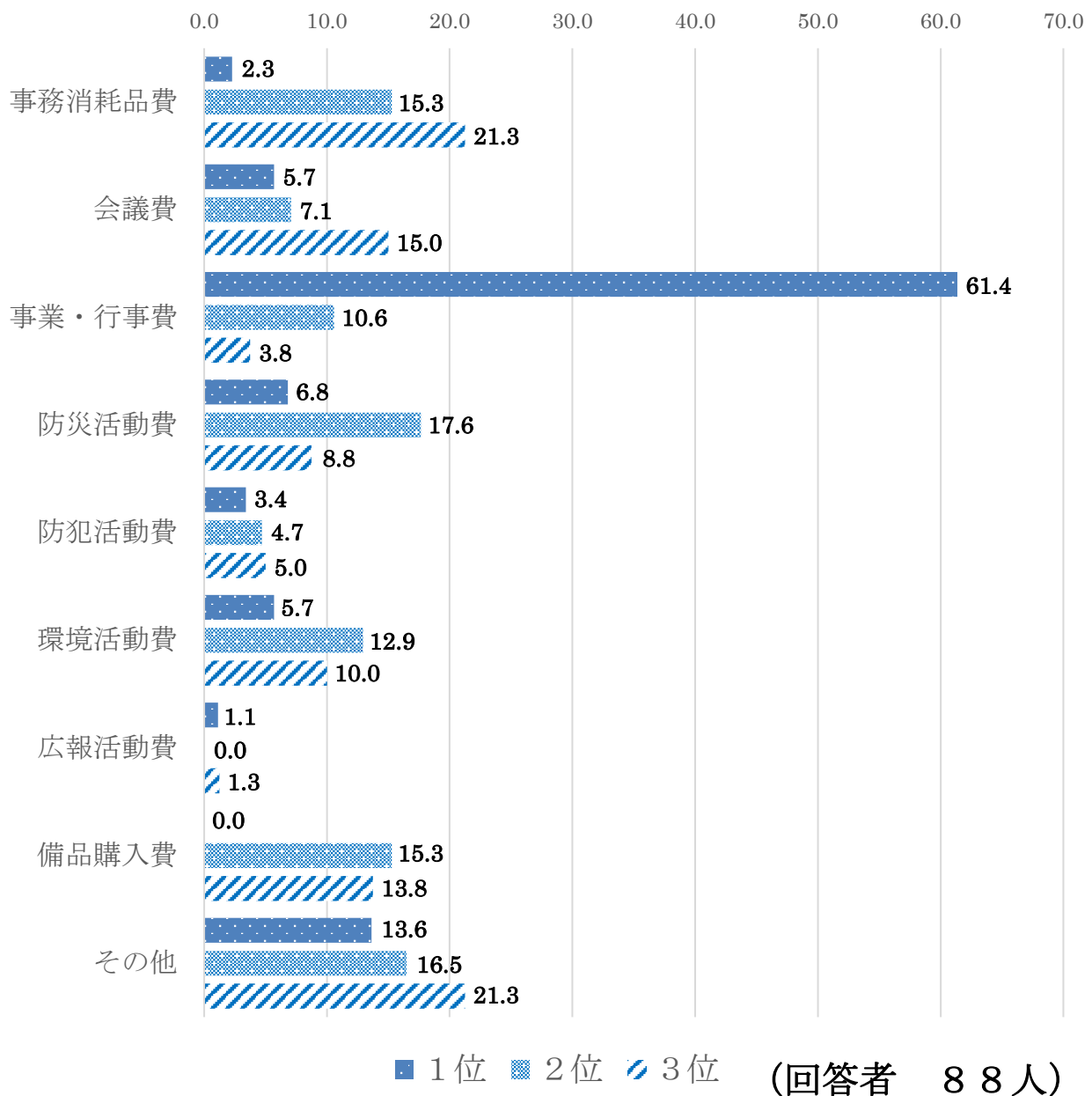
・自治会集会所の貸し出しによる収入

・共有地からの駐車場料金

・夏祭り模擬店売金（やきそば）

・当自治会では昨年度に大幅な改革を行い、役員の人数を半減し、コストを削減した上で、住民の親睦にかかる活動を自治会の主催にすべて頼るのではなく、住民の自主的な活動にシフトし（金銭的負担も）、自治会の予算への依存度を下げています。

問 9. 自治会の主な支出経費について、多いものから順に 3 つを選んでください。



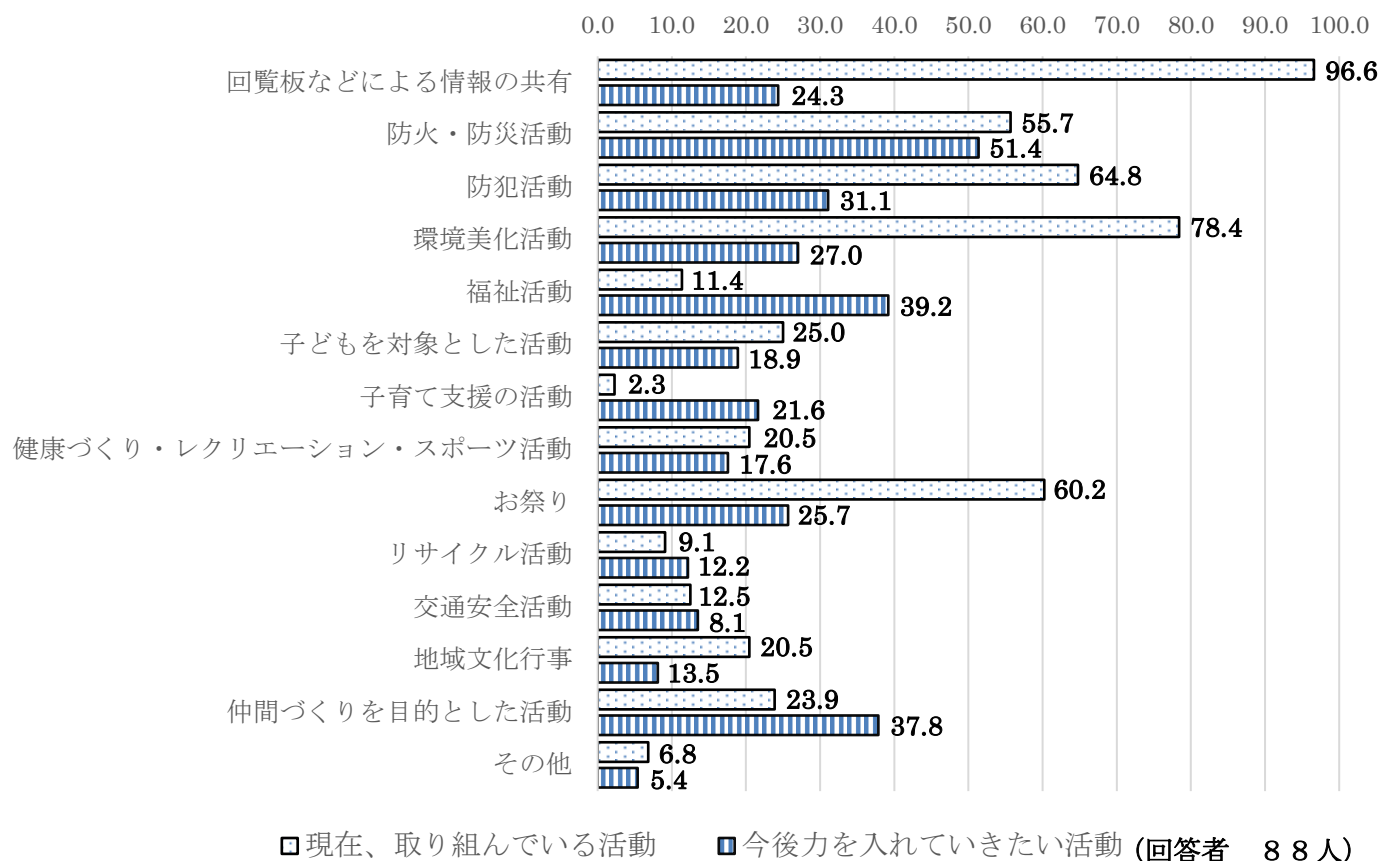
その他の回答内容

・ 神事、祭事 ・ 役員活動費 ・ 分担金 ・ 使用料 ・ 地域活動団体への補助金 ・ 集会所管理費 ・ 集会所維持管理費（５件） ・ 地区の祭礼費 ・ 積立金 ・ 会館光熱水費（２件）、備品等の会館運営費 ・ 募金等（緑の募金、赤十字協力金、赤い羽根他）（４件） ・ 社会福祉関連寄付 ・ AED 機器レンタル代 ・ 役員活動支弁費 ・ 寄付金（３件） ・ 役員手当 ・ 会長報酬 ・ ゴミ集積場のごみストッカーの設置（R6 年度～７年度にかけて） ・ 集会所借地料 ・ 防災資機材の購入費（R6 年度） ・ 役員通信費 ・ 役員、班長、委員の礼金 ・ 倉庫立替積立金 ・ 弔慰金等 ・ 排水管清掃 ・ 消防団負担金 ・ 防災活動に係る補助金（ただし R6 年度限り） ・ 交際費

・ 自治会等の主な支出経費は「事業・行事費」が１位の多数を占め、２位以降では「防災活動費」、「事務消耗品」、「備品購入費」、「環境活動費」が比較的多かった。

調査項目３ 自治会活動の取り組み

問１０．取り組んでいる活動
現在自治会として取り組んでいる活動、また今後力を入れていきたい活動を選んでください。（複数選択）



その他（現在取り組んでいる活動）

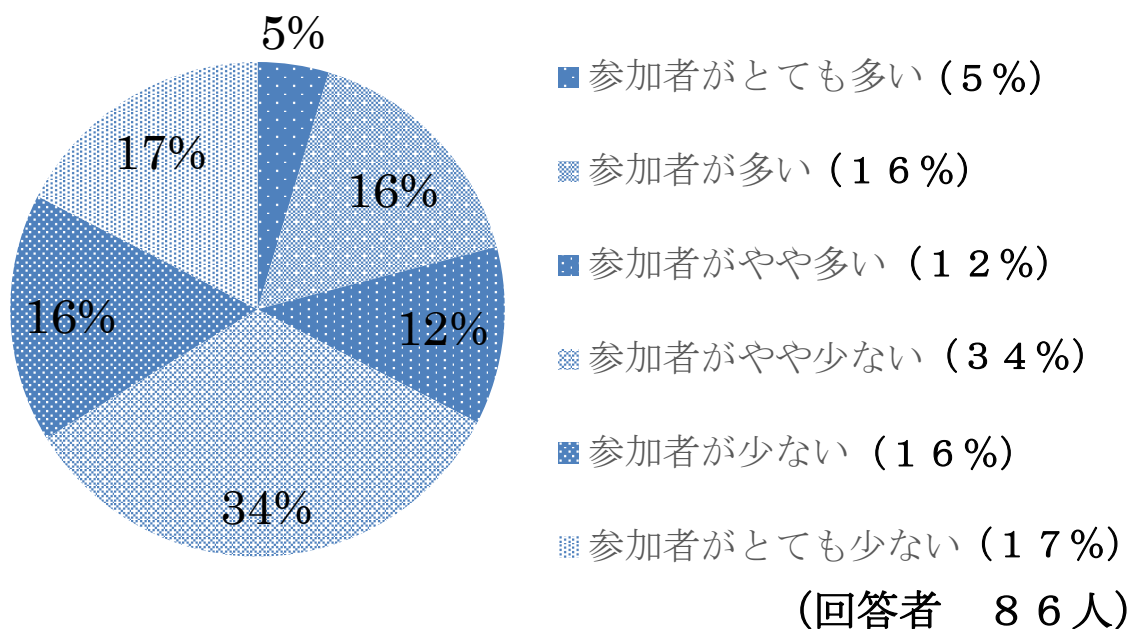
- ・秋祭り（子ども宝探し、組合員ボッチャ、バザー抽選会）
- ・日帰り旅行
- ・春、秋のイベント
- ・高齢者、独居老人対策
- ・市からの講師派遣による勉強会など

その他（今後力を入れていきたい活動）

- ・秋祭り（子ども宝探し、組合員ボッチャ、バザー抽選会）
- ・高齢者、独居老人対策

- ・自治会が現在取り組んでいる活動は「回覧板などによる情報の共有」、「環境美化活動」「防犯活動」、「お祭り」、「防火・防災活動」、の順が多かった。
- ・今後力を入れたい活動は「防火・防災活動」、「福祉活動」、「仲間づくりを目的とした活動」、「防犯活動」、「環境美化活動」の順が多かった。

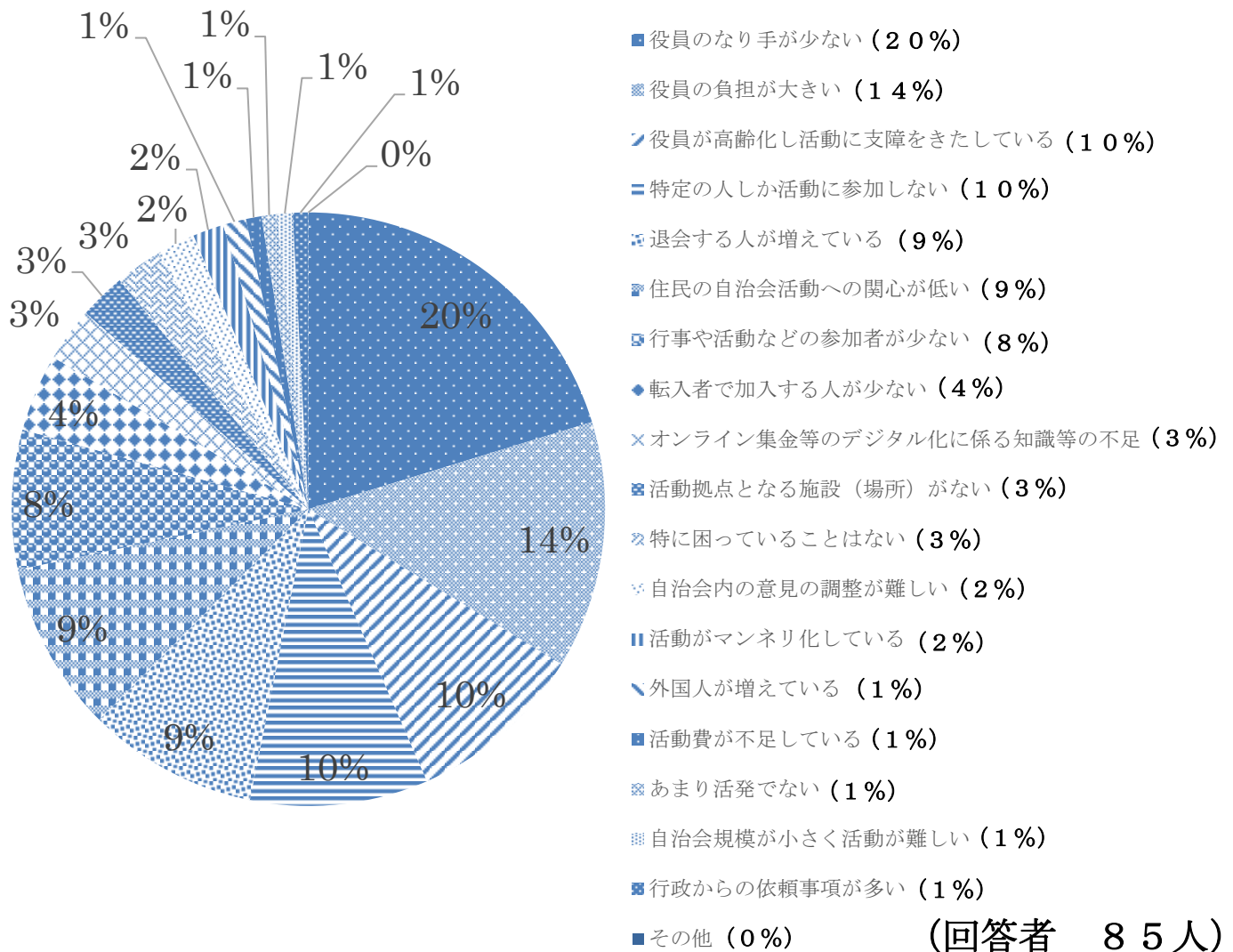
問 1 1. 会員の参加状況 自治会活動を全般的にみて、会員の参加状況を教えてください。（択一）



- ・自治会で取り組んでいる活動の会員の参加状況は「参加状況が多い」より「参加状況が少ない」が多かった。
- ・前回（H29）よりも、参加状況が少ない傾向が強くなっている（全体の53% → 67%）

調査項目4 自治会活動の課題

問12. 自治会活動を行っていくうえで課題（悩みや困りごと）となっているのはどのようなことですか。（複数選択）



その他の回答内容

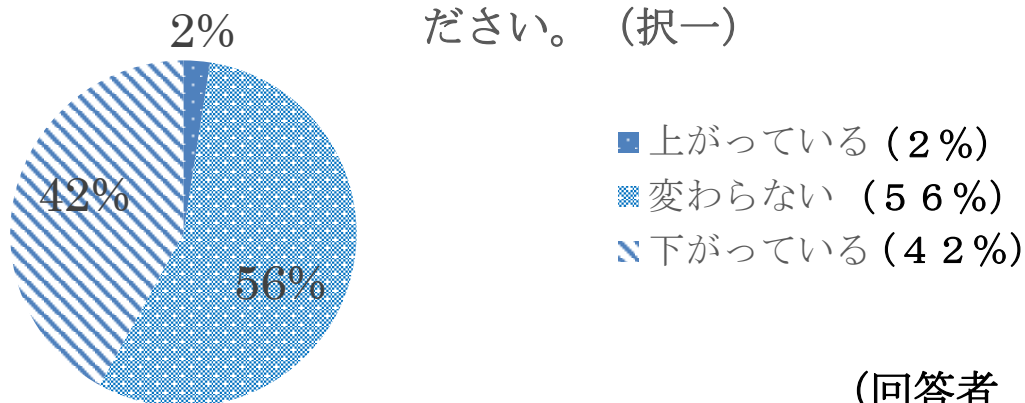
- ・外国人の文化の違いで、時々問題が発生している。
- ・住民が高齢化している
- ・班ごとぬけるところがあり、こまっている。
- ・特定の会員からの苦情が多く、役員の心理的負担が多い
- ・旧農免道路のゴミ集め、市民活動ではなく行政側で積極的にやってほしい。

・自治会活動の課題は「役員のなり手が少ない」、「役員の負担が大きい」、「役員が高齢化し活動に支障をきたしている」の順で多かった。

調査項目5 自治会加入の取り組み

問13. 加入率の推移

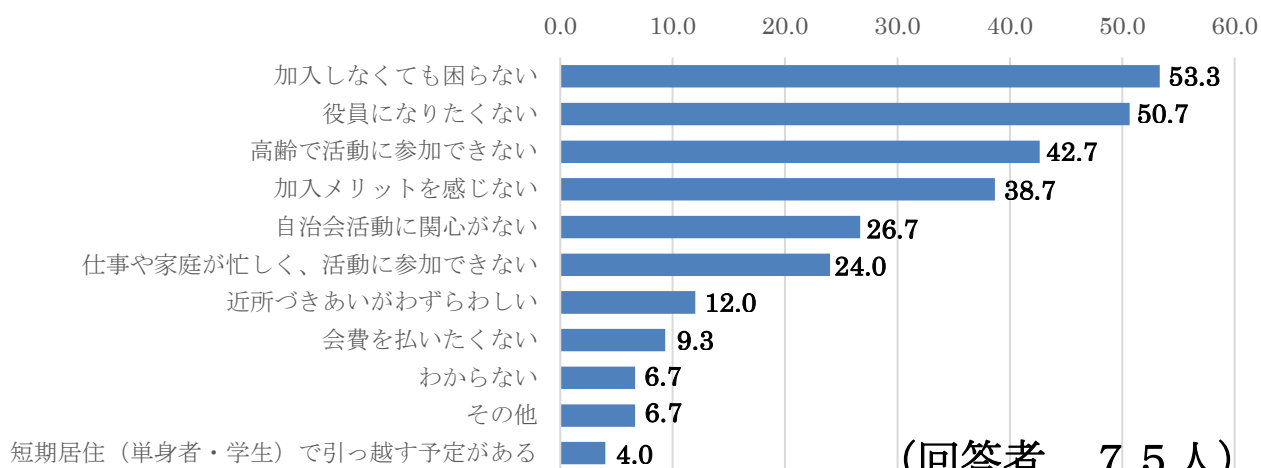
ここ数年の自治会の加入率の推移について教えてください。（択一）



（回答者 81人）

- ・自治会の加入率の推移は、「変わらない」が一番多かったが、「下がっている」自治会も43%あった。
- ・前回（H29）と比較すると「下がっている」が増加した。（23%→43%）

問14. 自治会に加入しない理由は何だと思いますか。主な理由を3つまで選んでください



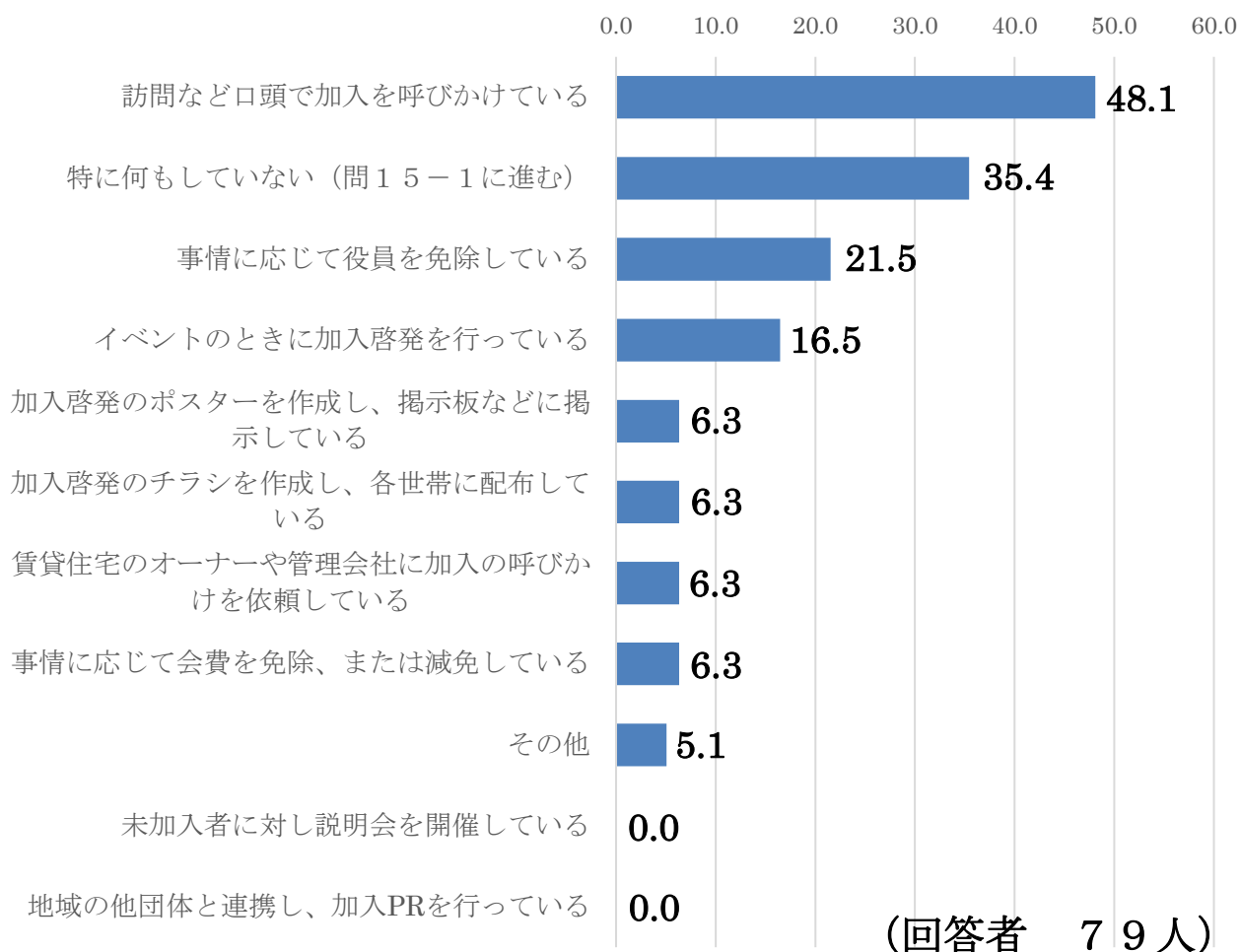
（回答者 75人）

その他の回答内容

- ・ひとり暮らし高齢者の死亡 ・大変 ・自治会の意義を理解していない ・居住者が減少
- ・加入しない理由は人それぞれなので聞いてみないとわかりせん。

- ・自治会に加入しない理由として思うことは、「加入しなくても困らない」、「役員になりたくない」、「高齢で活動に参加できない」の順で多かった。

問 1 5 . 加入者を増やす取り組み 自治会加入者を増やすための取り組み（複数選択）



その他の回答内容

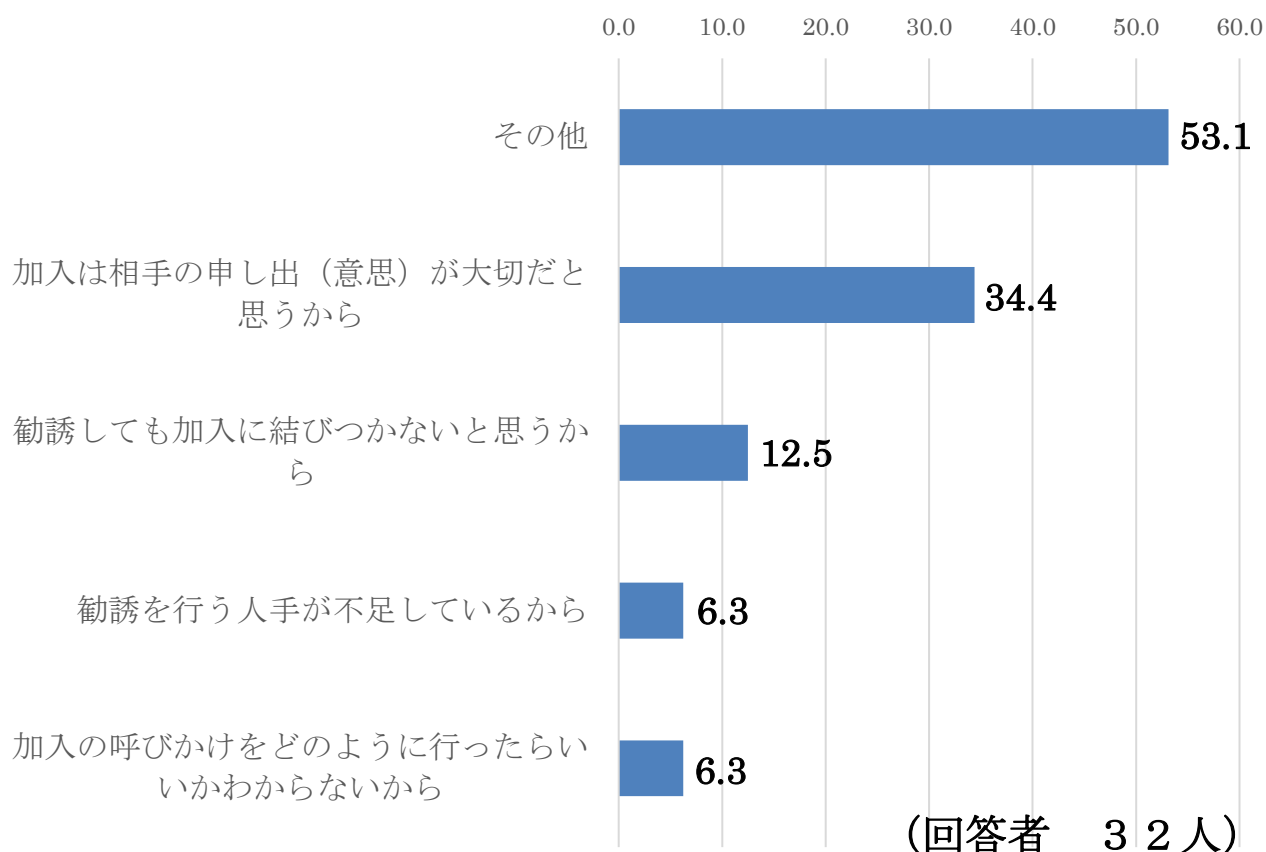
- ・ 13件しかないので増やしようがありません。
- ・ ①会員以外の住民にメリットのある活動への誘いビラの配布
- ・ ②総会議案書の配布

・ 自治会加入者を増やす取り組みは「訪問など口頭で加入を呼び掛けている」が一番多かったが、その一方、「特に何もしていない」団体も二番目に多かった。

自治会加入者を増やすために、効果があった取り組み

- ・新規入居者には、加入を進めている。・戸建て住宅地のため、新規分譲の場合は、開発業者に声掛けして開発業者から入会の要請をしてもらうこともある。・ゴミ集積所の利用を自治会加入を前提にする・各家庭へのビラ投函、LINE グループでの情報提供、web サイトの作成、転入者への声掛け等
- ・当自治会は 54 世帯と小規模だが全世帯一応加入しております。
- ・役員免除をしたら 少し退会が、減少した
- ・ありません。ほぼ皆さん加入していただいています。
- ・ゴミステーションの収集日の説明等から自治会活動を PR している。
- ・使用者がいるのに所有者に取り次げないから自治会に入らないというものがいる。
- ・住宅地の隣接地で騒音問題があり、相談者が当時自治会に未加入であったが、その問題に自治会として取り組むことになり、その場合、相談者も自治会に入りましょうという話になり、騒音問題発生近くに引越してきた複数軒が一番に加入した。
- ・引越しの直後にお願いします。
- ・設問に加入率を問うべきではないか？
- ・転入者への早めの声かけと手続き。退会者への理由確認（なかなかできていない）
- ・残念ながら効果は出ていません。
- ・現在加入率が 95%あり、あまり取り組みは行っていない。

問 1 5 - 1 . 取り組みを行っていない理由
自治会加入者を増やすための取り組みを行っていない理由（複数選択）

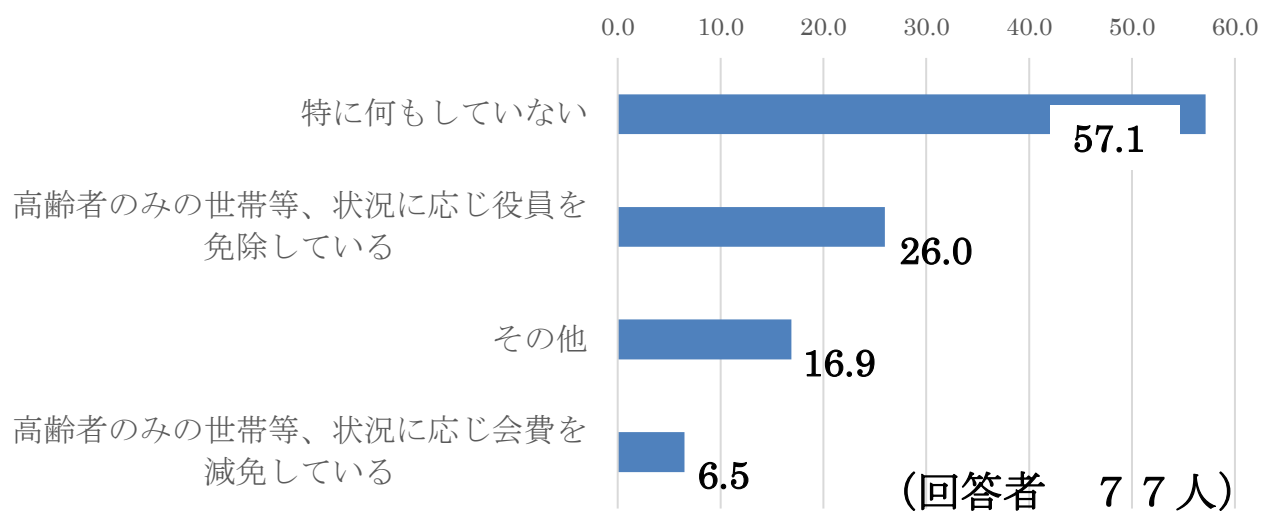


その他の回答内容

・①勧誘が負担になるので、考えていない（役員の負担になる）②ほぼ全戸が加入しているため ・長年加入していない人だから ・高齢化→ひとり暮らしの高齢者増→死亡→自治会員減これが理由働ける未加入者がいるわけではない ・全戸加入済・旧地域の転入者がいない。 ・むらなのでよそから来ない ・活動しなくてもやめる人がいない ・不動産屋から案内を受けたうえで断っているのに入ってくれる可能性は低いと思っている。
・県営住宅のため ・そもそも現在の自治会活動の状況下では、勧誘する具体的な理由が見いだせない。

・自治会加入者を増やすための取り組みを行っていない理由は「加入は相手の申し出(意思)が大切だと思うから」や「その他」の理由が多数を占めていた。

問 1 6 . 退会者を減らすための取り組み 自治会退会者を減らすための取り組み（複数選択）



その他の回答内容

- ・ゴミステーションの管理の必要性を行っている
 - ・役員辞退の受け入れ
 - ・特に規定はないが事情に応じ役員を免除している世帯がある。
 - ・加入継続啓発のチラシ
 - ・自治会会員の不加入要件を広げている
 - ・活動の活発化
 - ・会費を下げた。
 - ・2. のしくみ※を検討するとともに、班の構成（班によって人数がまちまち）を変えようとしている。
 - ・総会欠席者が書かれた意見などへの細めなコメントの記入を各戸配布による。自治会活動の大切さのうったえかけの継続的实施
 - ・現状は何も出来ていない。
 - ・なるべく広くイベントに参加頂ける企画を検討している。
- ※事務局注：「高齢者のみの世帯等、状況に応じ役員を免除している」

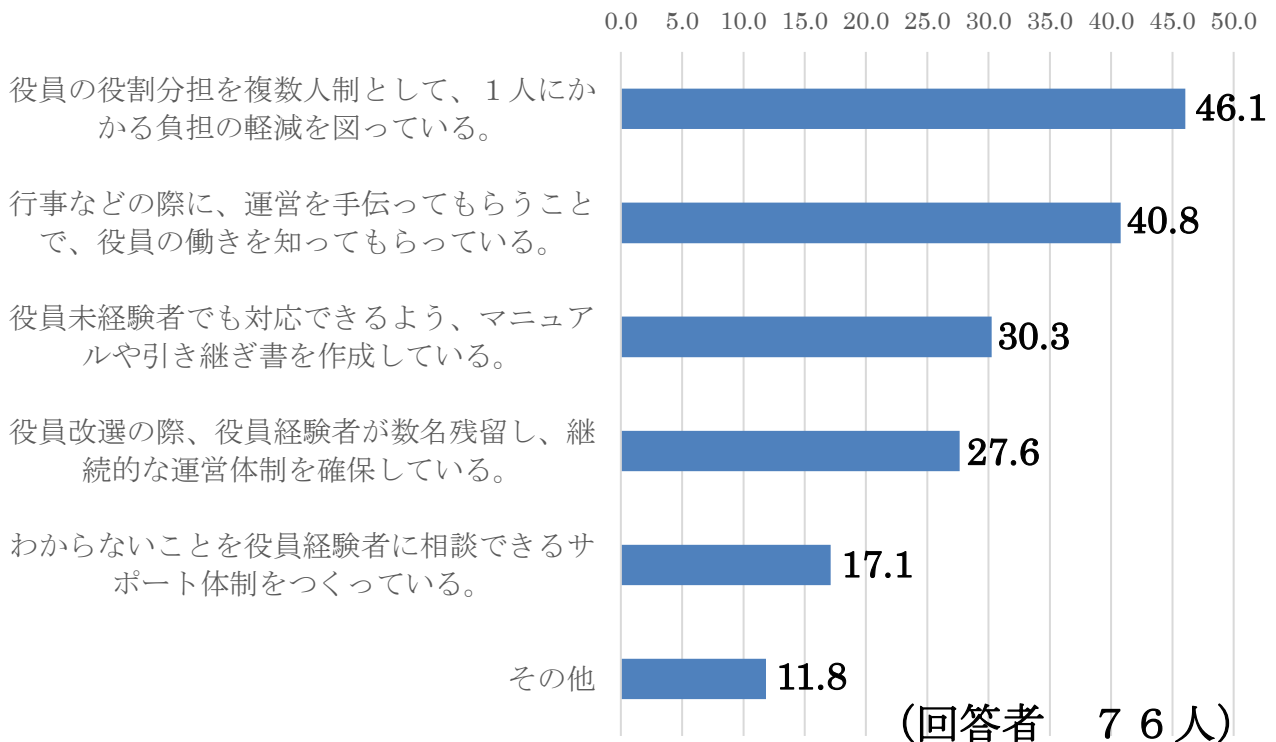
- ・自治会退会者を減らすための取り組みは、「特に何もしていない」が多い一方、取り組みとして「高齢者のみの世帯等、状況に応じ役員を免除している」が多かった。

自治会退会者を減らすために、効果があった取り組み

- ・ 役員の免除
- ・ 残念ながらありません。
- ・ 特になし（任期が一年なので過去どのような取り組みがあったのかの引継ぎはなかったです。）
- ・ 仕事が、忙しい方も 役員免除した
- ・ マンションという環境が、自治会入会への見えない強制力になっているかと思います。
- ・ 転居時に入会意思の確認をしておらず、会費を集める通知を出しているのも一因かと思います。
- ・ ゴミゼロ運動の代わりにゴミステーションの改修を全利用世帯で行い、出欠もとっている
- ・ 最近新規入居者が多く、新旧住居のコミュニケーション良くするためにイベントを多く実施しています。
- ・ 役員辞退の受け入れ
- ・ 自治会加入のメリットを作ろうと自治会で集会所敷地に井戸を掘ろうとしたか、全会員の1/3の賛成しか得られず廃案となった
- ・ 高齢者に対して一時休会として会費や活動を免除しており親族の参加を待っている。
- ・ 役員負担が以前より格段に減っていることをアピールしている。特に夏祭り、連合会離脱による。
- ・ 規約の目的に合わせた運営、交流機会を増やす、広報する、防災や趣味などなるべく多くの切り口での情報提供
- ・ 残念ながら効果があったようには思えませんが、以後は批判的な意見を書かれていた方が、建設的な意見の書き方に変わったように思われました。
- ・ 役員の輪番制を廃止し、立候補に変えたこと。役員になる負担がなくなったことで、むしろ会員が増えた。本年は一人も退会者なし。

調査項目6 役員のなり手の確保

問17. 役員のなり手を確保するための取り組み
役員のなり手を増やすために、どのような取り組み
を行っていますか。（複数選択）



その他の回答内容

- ・前任者にきく
- ・順番制として現役員が次期役員に説得
- ・立候補制ではあるが毎年候補者が無いので輪番制で役員をすることになる
- ・役員経験者主体でLINEグループを作り、情報を共有している。
- ・地域ごとの班長以外に運営委員を設置し毎日コアミーティングを行っている。
- ・役員の負担軽減①自治会予約のネット化②登録団体責任者への会館のカギを貸与③登録団体の会館利用料金のワンコイン寄付化④会議の減⑤イベントの自治会主催→実行委員会主催化
- ・出来る者が、仕方なくやる。
- ・順番制
- ・特に何も行っていない

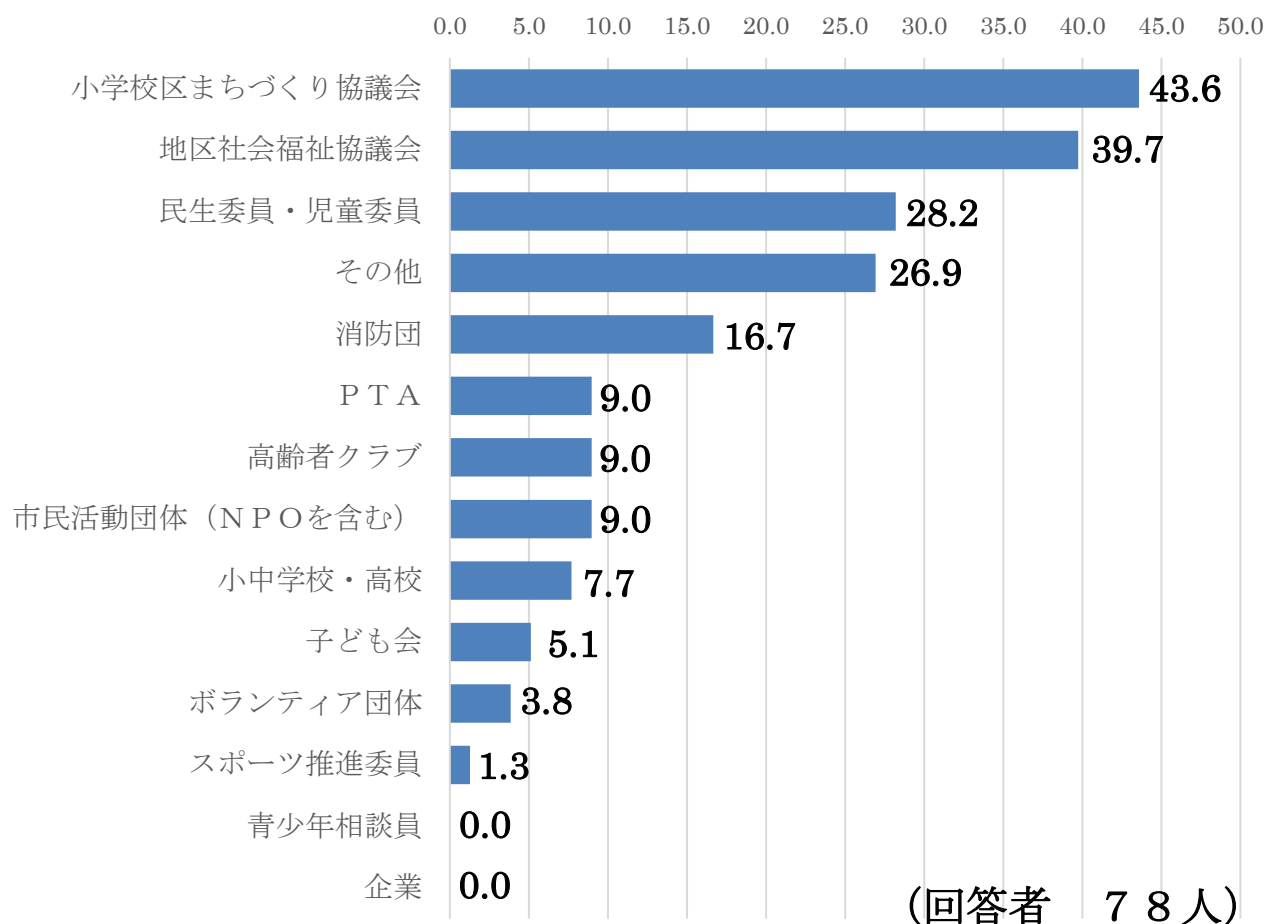
・役員のなり手を確保するための取り組みは「役員の役割分担を複数人数制として、一人に係る負担の軽減を図っている」、「行事などの際、役員経験者が数名残留し、継続的な運営体制を確保している」「役員未経験者でも対応できるよう、マニュアルや引き継ぎ書を作成している」の順で多かった。

役員のなり手を増やすために、活動への負担軽減策など、効果があった取り組み

- ・ イベントの内容として、映画鑑賞会など準備に負担がかからないものになっている。
また、コミュニティ事業の一部をサークルに委託している。
- ・ 年齢に合った役割分担をし役員でもできることでお祭りの開催等行っている。
例えば生ビールサーバーを借りてくことをやめ缶ビールに変更。
料理等も役員で作るのではなくテイクアウトを利用する。無理をせず活動することを1番に考え、これくらいなら役員やってもいいですよ…と言ってもらえるくらいの活動量にし会議に関しても必要な時のみに開催しています。
- ・ 逆に役員の負担が増えています。（みどりの里まちづくりの役員の重複）
- ・ 日帰り旅行の代金を、役員は無料とした。
- ・ 当自治会では当初から班長（16名）の中から会長及び役員を決めていたが4年前から班長外からでも会長他役員が出来るように規約改正し班長の負担を軽減しておりまたイベント等ではお助けマン（実行員）を募集し役員班長の負担を軽減しています。
- ・ 年間事業に一般会員に手助けを依頼している
- ・ 11班ある班長の中から毎年役員を決めている。
- ・ 輪番制で会計・会長・監査の3年間は係わることになっている。
- ・ 順番制の為取り組みはしていません
- ・ 役員決めにおける問題を解決するために、①役員の役割分担を明確にして役員間の連携を図り個々の負担を軽減させる。②役員会や会議の進行方法を見直して生産的な意思決定を促す。
- ・ 負荷をかけないこと・役員以外にサポーターの輪を拡げること・役員には事務文具費、消耗品費を惜しみなく与え、サポーターには御礼品をけちらない。
- ・ 行事等における濃い交流
- ・ むしろこちらが知りたいです。
- ・ 自治会の業務負担を大きく削減し、自治会活動のコンセプトを見直したことで、若い人たちにも関心を持つ人が少しずつ増えてきている。

調査項目7 他団体・組織との協力・連携

問18. 他団体・組織との協力・連携
自治会活動において地域他団体・組織と協力・連携することがありますか。（複数選択）



その他の回答内容

- ・①民生委員主体の地域活動団体 ②管理組合（草取り、クリーンデー、防災訓練他）
- ・自治連小学校区支部 ・近隣4自治会と富ヶ谷地区再開発についての話し合い
- ・西白井駅前地域包括支援センター ・白井市自治連合会
- ・コミュニティセンターとの行事開催を共催 ・他の近隣自治会 ・近隣の町内会
- ・地域合同の祭礼がある ・近隣の自治会で協力して夏まつりを実施しているが、反対者も多く、義務的な感じで行っている。 ・協力、連携することはありませんでした。

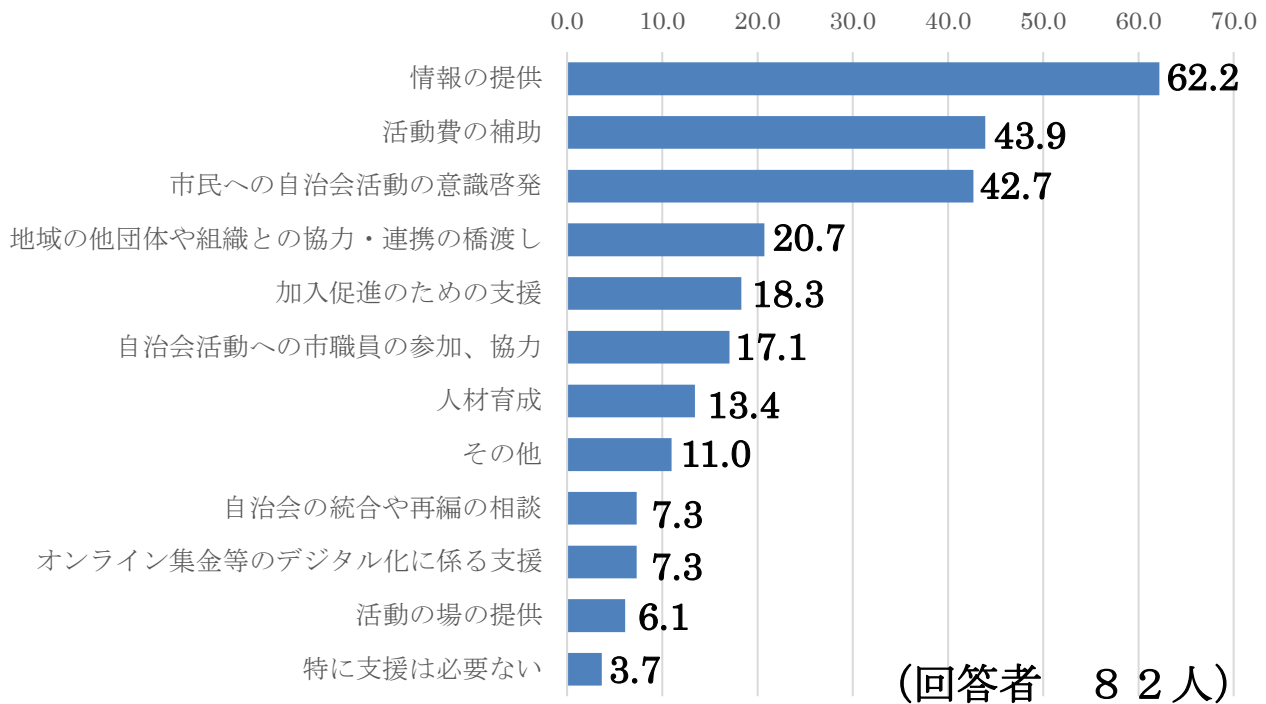
・他団体との組織・連携は、「小学校区まちづくり協議会」「地区社会福祉協議会」、「民生委員・児童委員」、「その他」、「消防団」、「PTA」の順で多かった。

他団体・組織との協力・連携により効果があつた特徴的な取り組み

- ・高齢者のコミュニティが図られている。
- ・まち協に積極的に参加している。
- ・夏まつりなど支部全体ではあるが、単位自治会での協力連携した活動はない。
- ・効果とはどのような効果のことでしょうか？
- ・再開発について関心高まった
- ・白井第二小学校区みどりの里づくり協議会の代議員として4名おくり出しており、様々な事業を手伝っている
- ・LINE を通じて「会長」会を結成。何かあれば情報交換等を行っている
- ・子供会とのゴミゼロ運動による子供たちが参加したこと。
- ・夏休みのラジオ体操、子供みこし
- ・自治会の高齢化もあり、子供会がない。地区社協の子供向けイベントを当自治会の会館で開催してもらうことで、子供会に代替するイベントとなった。小学校の登下校見守りボランティアへ協力
- ・住民間でボランティア団体をつくる活動を進めている。例えば、住宅内の花壇の整備は園芸好きの住民グループが行っている（従来は自治会役員）。

調査項目８ 市からの必要な支援

問１９．市からの必要な支援
自治会の課題解決や活性化に向けて、市からどのような支援が必要だと考えますか。（複数選択）



特に支援は必要ないとした理由

- ・ 厳しい状況にあるが、困難は自力で解決すべき
- ・ 今現在はなし

その他の回答内容

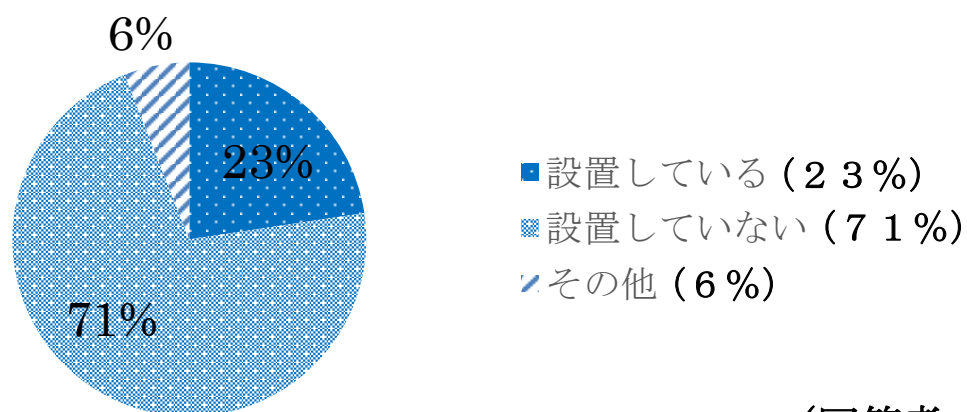
- ・ 規約の策定や改定、諸問題の対応について法的にどうか、弁護士等に気軽に聞ける支援
- ・ 問１２の１８※行政側で積極的対応を
- ・ 公的措置が必要なときは答えてほしい
- ・ 市からの補助金は地区が良くなることに使用できるようみなおしを
- ・ 補助金の対象の見直し
- ・ ワンストップの窓口になっていただきたい。担当課がバラバラなので。
- ・ 防災係や生活指導係、広報係などは直接書類をその係に送ってください。会長に会務が集中しすぎている
- ・ 住民票の手続きをする時に自治会への加入も一緒に手続きしてほしい。

※事務局注：問１２の１８ その他の回答「旧農免道路のゴミ集め、市民活動ではなく行政側で積極的にやってほしい。」

- ・ 市からの必要な支援は「情報の提供」、「活動費の補助」、「市民への自治会活動の意識啓発」、の順で多かった。

調査項目９ その他

問２０．自治会で管理している井戸の設置状況について教えてください



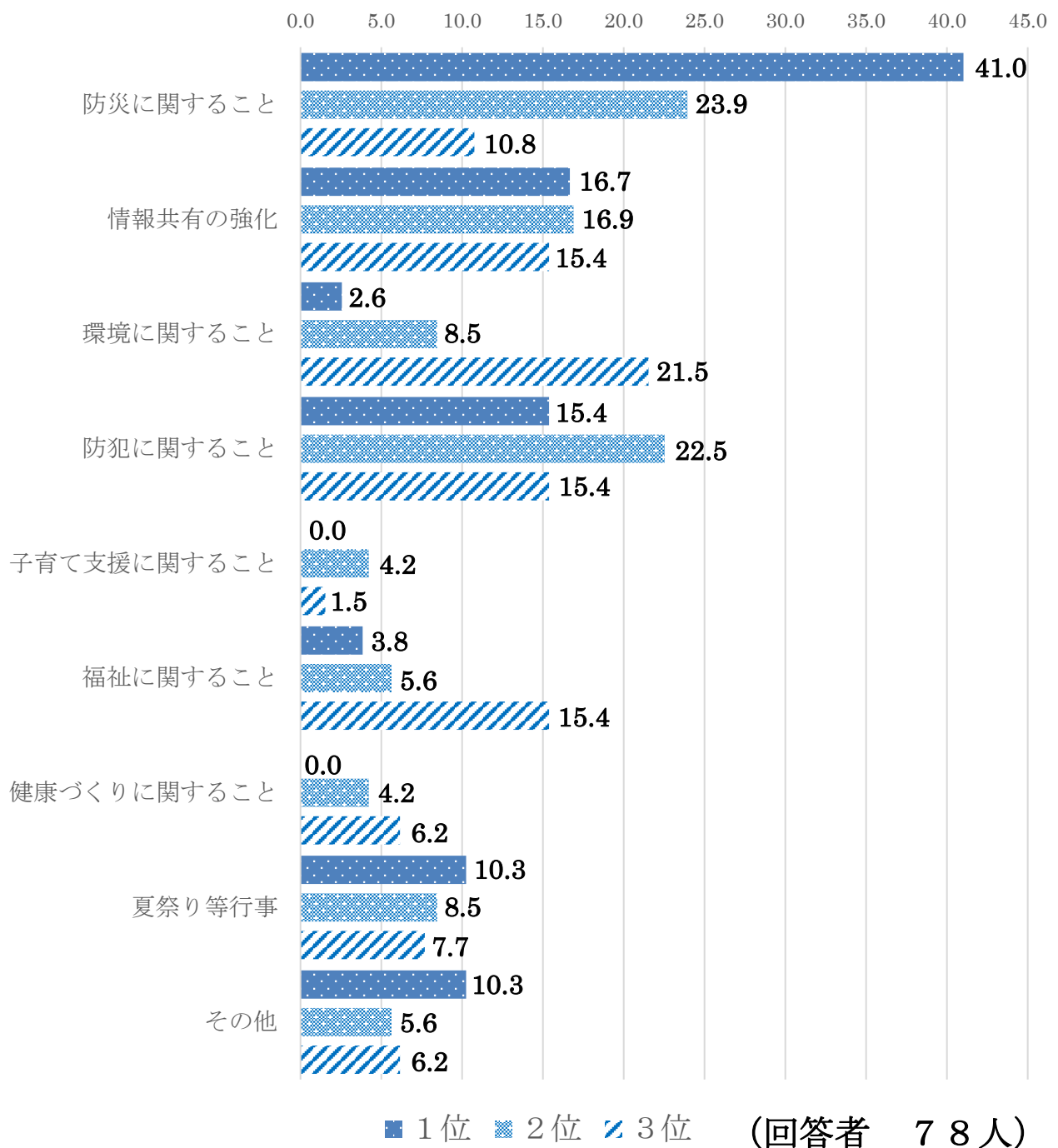
(回答者 84人)

その他の回答内容

- ・検討中
- ・使用頻度が低く水質悪化で使用していない。
- ・わからない
- ・マンション管理組合で設置保有
- ・災害の際に協力してもらう井戸を決めている。（毎年の水質検査の費用は自治会が負担）

- ・井戸の設置状況は「設置していない」が大半を占めた。設置している団体は少数だった。

問 2 1. (1) 自治連合会に期待するもの
自治連合会に期待するものを多いものから順に3つを選んで
ください。



その他の回答内容

- ・まち協との差別化
- ・特になし
- ・自治会連合会に期待することは全くない。その存在に異議が感じられない。

- ・自治連合会に期待するものは「防災に関すること」が大半を占めた。それ以外では「情報共有の強化」、「防犯に関すること」の意見も多かった。

問 2 1. (2) 自治連合会に具体的な事業提案があればお書きください。

- ・防災の面では、かなりたちおくられている。自治会単独では出来ないことがある。自治会間の連携、共助が必要なはず。また、防犯面の危険ステージが変わった。詐欺よりリスクの高い事態に突入した。地域として防犯意識を高め、提案が行えるようにならなければならない。夏祭り以外にも、若い方向けの企画をしないと行けない。中銀の大ホールをつかっての、ゲーム大会を行いたい。
- ・関心があるのは、防災、防犯等ではないかと思うが、まち協が積極的に活動になると、自治連合の位置付けが困難になると思うが、大所高所からの見方を考える。自治会とまち協は、様々なイベントなどに忙殺されることになる。自治連合は研修などで自治会にフィードバック可能なことを薦める。
- ・今後は、まちづくり協議会にシフトして自治連自体の活動は縮小すべきと思います。そうしないと会合ばかりが増えて担当する役員は疲弊します。
- ・企業の誘致活動。
- ・新しくできるマンション等で自治会を作ることこの先難しいと考えます。任意団体という位置付けなのでしかたのないことと捉えてはいますがこのままの状態では各支部会、自治連を続けることはどうしても自治会加入者と非加入者という括りになってしまいます。まちづくり協議会を立ち上げている最中かと思いますが自治会のない管理組合がまちづくり協議会に参加することである程度、歯抜けにならず小学校区でまとまった形になるのではないかと思います。自治会に加入しないという選択はもはやスタンダードな考えです。入るも入らないも自由であること。私自身は加入して良かったと思っています。
- ・各自治会は基本単年毎の役員交替と思うので、(常設の組織で) 各自治会へ助言や支援などを全般的にしてもらえると心強いです。
- ・1年間なので自治連合会に事業がよく見えていません。上部の役員だけの活動のような気がします。もっとわかりやすく、そして、全体的に見えるように分かりやすい事業がしてほしい。
- ・1. 支部活動の活性化※地区があって連合会がある意識を持つため
- ・内容の薄い自治連合会総会は、時間の無駄なので止めるべきである。
- ・各自治会との情報交換
- ・連合会主体での事業は思い浮かばない。身近な支部レベルまでだと思う。

次頁に続く

- ・自治連合会に所属していない。猛暑の夏祭りは高齢役員には負担が大きく、離脱することとなった。
- ・自治会にまで伝わる活動逆に何ができるのか？
- ・市とオンラインでつながる事・市か自治連合会がサーバーをつくってほしい。その容量を各自治会に割り振ってもらえると、各自治会の役員間のやりとりや新旧の役員の引きつぎが楽です。夏まつりの準備などにも大いに役立つと思います。
- ・防災、防犯活動などに際しての個人情報の取り扱い等、多くの自治会で共通する課題については具体的に取りかわすべき文書のたたき台を共有するなど、各自治会が個々に負担する事業内容を減らすような働きが求められる
- ・自治連合会で具体的な事業を推進することには限界があると感じています。小学校区単位のまちづくり協議会に中心が移っていくので、そちらで新事業を実施していくことが現実的だと思います。

問 2 2. 自治会活動を行う上で日頃感じていること、自治会活動の活性化のための提案など、御自由にお書きください。

- ・親が亡くなって子を取り敢えず相続するケースが多くなって空き部屋がとにかく発生しやすい状況にある。空き部屋が増えると輪番が機能しなくなり制度が頓挫しかねない。空き部屋を譲渡しやすいシステムがあれば良いなどは感じる。
- ・夏祭りも必要だが、それで終わっている感がある。それだけでは負担が多く、加入メリットが無い。新たに参加頂ける、若い自治会を取り込めるような、魅力を発信する必要があると考える。
- ・私どもの町会は様々な活動を実施しているので問題無しと、考えている。今後は、町会員の命を守ることを第1義的に考えたことを実行したい。
- ・ごみ集積所の問題について、市の方も利用者に寄り添うような対応をしてもらいたい。
- ・まだフルタイムで仕事をしており、しかもかなり忙しいため、自治会活動することは大変困難です。とにかく1年間を乗り切ることを主眼に対応しており、新たな取り組みに挑戦する余裕がありません。気持ちはあるのですが！
- ・老若男女が気軽に参加できる交流の場（茶話会、講演会、スポーツ等）を増やして欲しい。各自治会の集会所へテレビ、音響設備、PC等を充実させるための補助金や助成金を増額して頂きたい。
- ・自治会内の高齢化により自治会員ではあるが役員免除となっている世帯が多くなってきた。自治会の活動で役員以外で手伝ってくれる方が毎回同じ人になってきている。役員の業務が多いので活動自体が少なくして役員の業務軽減をしている。役員の際は活動に参加するが、役員の任期が満了したり役員を免除になったりすると活動に参加しなくなる。無関心になる。夏祭りの出店等の参加活動は、この暑さでは体力的にきつい。秋に実施するとか、ふるさと祭りと共催するとか検討してほしい。

次頁に続く

- ・自分の地域の自治会活動だけで手一杯で他の自治会との交流を全く出来ないのが現状であり、小学校区まちづくり協議会活動が本格化しても、この問題は解決しないのではないかと感じています。
- ・顔の見える関係作り(適切な近所付き合い)が希薄になって来ている。合同イベントや旅行などがあっても良い。
- ・来年竣工 30 周年を迎えるにあたり今後 5 年ほどで一気に高齢者が増える予定です。集会所を活動の場として何かできないか模索中です。
- ・役員のなり手不足。輪番制にすると退会や未加入が増えそう
- ・高齢化、自治会に入らない人の増加、役員のなり手不足の減少と課題は多いと思います。地域交流や見守り、防災等で存在意識は大きいと思いますが、仕事・家庭を持ちながら役員としての活動は負担が大きく、一年任期では、前年の役員が設定した活動計画をこなすだけで手一杯です。近隣の交流も増やす必要があります。自治体としては自治会が機能したほうが良いはずですので、ある程度活動の支援をしてくれるパッケージのような事業をしてくださるとありがたいです。例) 地域にあわせた防災、避難訓練を例示し、訓練実施まで関与してくれる。例) 地域交流(顔の見える関係をつくる)→依頼すれば行事を実施してくれる。
- ・自分も自治会長(区長)になって初めて区全体について考えたりするようになったのですが、皆がそのような意識になっていただけたら負担がだいぶ軽減されると思います。
- ・(旧農道)市道の草刈り(市が行っていただいている)→草は廃棄していただけるがその年に出てきたゴミ(廃棄物)はそのまま。近隣住民がゴミゼロで対応するからいいよと言っているように感じます。課が違うとは言わずに、横の連携を持っていただきたい。
【道路課→環境課に連絡→対応】 26 世帯の小さな自治会です。自治会への負担軽減をお願いいたします。(旧農道の草刈り、ゴミすて、年 2～3 回市での対応をお願い致します。)
- ・地域コミュニティの強化(共助のネットワーク)病気、災害、トラブル時の支援(精神的も含む)がほしい常日頃から挨拶ができる関係をつくる(小中学生にも教育する)
- ・1. 自治会の役員の多年任期(2 年以上) 2. 「回覧」の重要性の意識啓発 3. 班員単位の LINE の導入
- ・各自治会のコミュニケーションコミュニケーションを取る方法は！・子供向けのイベントを実施・若い年代向けのイベントの実施・年寄り用イベントの実施・各会員に合ったイベントを実施し顔を合わせる機会を多く設け親睦を計ること。
- ・役員(区長 1 人、代理 3 人)が 2 年毎にすべて代わってしまうため 4 月からの前半は、引き継ぎをするが、たいへんである。それを代理を 2 人にしてスムーズに引きついでいきたいと考えるが、変更するのがたいへんである。
- ・自治会入会のメリットを自分でもみいだせなく、勧誘を積極的にしにくい。次期役員のなり手を探すのが、一番の負担である。輪番制などとしたら、自治会退会者が増加しそうであり、役員を受けた者が、自分で後継者を決めるしかない状況。後継者にも申し訳ない気持ちでいっぱいである。

次頁に続く

- ・自治組織の大切さと会員増加の為に役員を永く勤めてきたが自分の思う様には理解を得られなかったし現状維持が精いっぱいでした。魅力ある自治会にするにはどう行動するか日々悩むところである。
- ・自治会とは違うのでは認参加、役員も輪番制で順ぐりに、お陰で退会やなり手のことでの困ることはない。
- ・スマホ・パソコンなどデジタル機器に対する高齢者のサポートをどうするか？
- ・高齢化に伴い自治会自体の運営をどのようにしていくか。
- ・自治会活動だけでなく、みどり協の活動などを1人で行うにはいそがしい。
- ・地域住民の高齢化による自治会活動への不参加者が増えており、後継者たる親族が近隣の行政へ出て行ってしまうという現実には、後継親族への地元定着を促すという大きな課題に直面しているので、良い方法を教授いただきたいと思います。
- ・人材不足、高齢化
- ・自分自身に関わりがないことはスルーする人が多い・誰かがやってくれるだろうと思う人が多い。
- ・自分が役員や係の時はあまり行動や意見しない人が終わるとこうして…ああして…こんな問題が以前からあったけど好き勝手な人が多い。ですから、自治会としての活動とそうではないものの区分けをはっきり伝え、活動そのものを簡素化する方向で進めています。
- ・負担の少ないイベントを自治会地域内で実行していきたい。例：ミニコンサート、ゲーム、体操、LINE グループを作り、会員の1/5が参加している。
- ・地区の社会福祉協議会との関係がわからない。たとえば、赤い羽根募金の要請が、社会福祉協議会から自治会宛に来る。自治会が下請けのように見なされている。当方は要請に応えられる義務も体力もない。この作業を自治会役員に分担させると、もはや役員の成り手不足に拍車をかけてしまう。下部組織である地区社協に要請するべきではないか。自治会活動に目的外・守備範囲外のものを課すことはつつしんでもらいたい。当方の自治会役員は報酬もないので尚更である。
- ・とにかく興味をもっていただく事と必要性を明確にしたいと思っている。市との連ケイまち協との連ケイで深めていきたい。
- ・当自治会では若い世帯が多く、子どもが小さな人が多い。それ故、時間、経済的に余裕がない中で役員にならなくてはいけない。雰囲気もピリピリしています。また、うちの子供の様に発達障害や障害があると通院や療育施設もあり、その他に共働きの家庭もあります。障害のある子は加配の先生が必要なので保育園に行く事も多く、そうすると保育園に入れる為に母親が働かないといけない事もあります。そんな中で毎週の夏祭りの会議や、支部の会計係などの業務が大変負担になっております。私の場合は支部会長のご協力のおかげ様で支部の仕事は何もしておりませんが、次年度以降も発達障害児をもつご家庭が会長になる可能性が高く、そういった家庭の会務の軽減が大きな課題です。夏祭りの重要性も承知していますが、何より我が子にたくさんのガマンを強いて仕事をしている事も知っていただきたいと思います。副会長と会長の仕事量が大きすぎます。会長の

次頁に続く

仕事を副にもう少し分けてほしい。副がどの係より 1 番仕事がない。

- 自治会の地域全体で取り組むべき課題を義務として行う組織となると負担感もあり気持ちはあるもののなるべくかかわらないようにしようとの空気になっていくのでそれを楽しめるものに変換するノウハウが自治会には必要を思う。しかしながらそこに関してのサポートや情報提供は、あまり市からされている感じはしていない。
- 小学校区まちづくり協議会（以下まち協）を推進しておられますが、これは、自治会に代わることはできず、自治会に残さざるをえません。よって自治会役員とまち協役員を両方出さねばならず、会員の負担は増加します。よって自治会員の脱退を助長することとなります。自治会がしっかりすればまち協は不要です。まち協がしっかりしても自治会が必要です。市にはまち協推進にかかる資金を人的能力を自治会活動の活性化にふり向けた方が、理にかなった方策と考えます。まち協の推進には、絶対に反対です。小学校区としてまとまってやるべきは、避難所の立ち上げ運営だけと考え、現在避難所立ち上げマニュアル作成に向けて 4 年越しで同じメンバーで取り組んでいます。その活動の中で出てきた問題の解決を危機管理課になげかけてありますが、3 年たった今も有効な解決策をいただけていません。対応をお願いいたします。
- 「自治会活動」が活性化するというビジョンは、今や現実的ではないように思います。
「住民の多様で自主的な活動」が活性化するように視点や考え方を変えるべきです。自治会の役割は、上記の住民の活動にかかる諸課題を解決する上でのファシリテーターとしての機能に限定すべきではないのでしょうか？